

(2) 田辺製薬屋上庭園 ー大阪府助成の屋上緑化①ー

大阪府が行った「大阪府屋上緑化促進モデル検討会」では、2002年度末に、上限無しの半額助成という思い切った内容で、年度内に完成する屋上緑化5物件に対して助成金の交付を行った。それらの物件を活用した緑化の効果検証と、一般向けに分かりやすいパンフレットを作るというのが、2003年度の検討会の主たる目的となった。

そのためにいくつかの調査項目を設定して、大阪府農林水産部と、食とみどりの総合技術センターが中心になって調査に取り組んでいる。昔ならばコンサルタントに一括発注して、涼しい顔をしながら指示を出していればよかったはずのお役人も、昨今の財政状況ではそうもいかず、大部分の作業を自営で行うことになってしまった。傍から見ていても大変そうで気の毒であるが、熱意と地道な努力でカバーしているようだ。といっても、あまりにも特殊な作業を行うことはさすがに無理で、一部は我々が手助けをすることになった。

夏本番前に、自記温度計の設置などを手伝って、真夏にはサーモグラフで熱画像を撮影しましょう、という段取りをしていた。ところがご承知の通り、2003年の夏は記録的な冷夏となってしまい、なかなか撮影日和がやってこない。世間様から見たら暇な人間No.1と思われている、我々夏休み中の教師であっても、実はいろいろとやらねばならぬ仕事があり、いつでも現場に行けるというものでもない。更に悪いことに、私の商売（研究）は夏が稼ぎ時である。夏の調査一発で卒論や修論を書こうという、博徒のような学生もいるので、晴れた日が来ると、勢いそうといった優先度の高いものから着手していかねばならないのである。



写真－4－2－1 田辺製薬の屋上庭園全景

そのような訳で、延ばし延ばしで終に夏休みも終わってしまったのであるが、9月の末に、ようやく天気とこちらの都合が会う日がやってきた。府助成の5物件のうち、サーモグラフで屋上面の写真が撮れそうなのは3件である。それを午前11時から午後2時までの間に全て回って撮影してしまうという、相当にタイトなスケジュールを組み、難波駅で府の車と待ち合わせをして、田辺製菓、淀川キリスト教病院、伊丹空港と撮影して回り、何とか約束を果たすことが出来たのである。

下の写真が田辺製菓の屋上庭園である。シンプル極まりないが、職場の屋上庭園はこの程度で十分のような気がする。前々から目をつけていたエレベーター棟の屋上に、梯子を掛けてもらって登り、イメージ通りの絵を撮ることが出来た。その時に驚いたのが、芝生とセダムの温度差である。この庭園の一角には、見本園的に薄層のセダムが置かれているのだが、表面温度はセダムの方が5℃近く低い。この時期のセダム類は夏の高湿乾燥から開放されて、実に生き活きとしている。それに対して芝の方は、そろそろ休眠期に向けての準備期間である。見た目の活気が、そのまま温度差になって現れているようだ。セダム類はCAM型だから冷却効率が悪いと言われているが、条件によっては芝などよりもはるかに蒸散が活発で冷える時もあるのである。

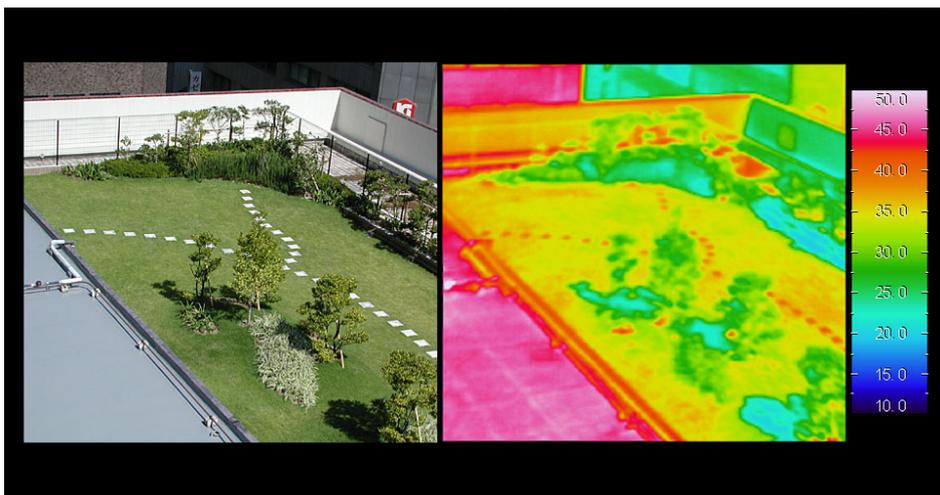


写真-4-2-2 屋上庭園のサーモグラフ画像

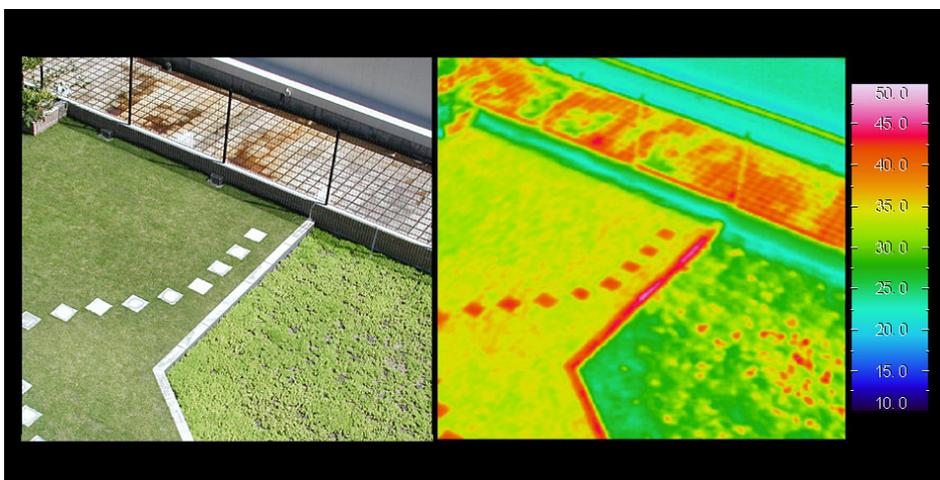


写真-4-2-3 屋上庭園のサーモグラフ画像（芝とセダムの温度に注目）